

# 令和4年度 「ハッピー♥スマイル」 第3回開催報告

【日 時】 令和4年11月21日（日）13時～

【場 所】 浅口市健康福祉センター  
ボランティア研修室

【参加者】 保護者5名 子ども3名  
救急救命士1名 養護教諭1名  
医師1名



## 1 開 会

### 2 アレルギー情報提供

- Web版すこやかライフ（環境再生保全機構）のコラム「食物アレルギー今むかし」を紹介しました。「食物アレルギー診療ガイドライン2021」の作成委員長であり、食物経口負荷試験を日本に定着させた国立相模原病院アレルギー性疾患研究部長の海老澤元宏先生に4回にわたり食物アレルギーの歴史をひもといていただき、最新の管理、予防、保育・学校現場での取組についても伺いして、日本の食物アレルギーについて解説されました。①日本の食物アレルギー診療の歴史および変化と進歩 ②食物アレルギー管理の変遷：原因食物の「完全除去」から「必要最小限の除去」！・食物経口負荷試験で「安全に食べられる範囲」を正確に診断・経口免疫療法は「専門医の指導」のもとゆっくり時間をかけて ③食物アレルギー予防の変遷：科学的な根拠がある食物アレルギーの予防を！・アトピー性皮膚炎のスキンケアをしっかりと・原因食物の摂取は早すぎても遅すぎてもダメ、タイミングが肝心 ④学校等での食物アレルギー対策も変わってきました！・重篤な事故を起こさない！学校でもきめ細やかな対応を実践・生活管理指導表は医師、保護者、学校・保育所を結ぶ信頼のツール。
- アトピー・アレルギー応援カタログ（アトピッ子地球の子ネットワークより）配布

### 3 情報交換

- ・8月、9月と新型コロナウイルス感染症の第7波が猛威をふるい、メンバーの中にもコロナに罹患した人がいましたが、重症化せず1週間位で回復してよかったです。
- ・アトピー性皮膚炎を皮膚科の専門医に診てもらっていたが、ステロイドをあまり使わずに治療する先生で、手荒れをはじめ体中の湿疹がひどくなり主治医を変えました。湿疹の非常に悪化したもので、湿疹の炎症反応によって増えたリンパ球が身体をめぐる、あちこちに他の湿疹が次から次へと出てきていると言われました。1番強いステロイド軟膏と、亜鉛華軟膏の湿布、小さいけど痒い湿疹にはドレニゾンテープという貼り薬を処方してもらいました。専門医でもステロイドは最終手段で、できるだけ使わずに治療する方針の先生がいます。治療の均一化が図れるといいのですが。



今回も、何とか開催できました。次回は、**令和5年1月22日（日）**  
**浅口市健康福祉センター**で開催します。情報交換の予定です。  
新型コロナウイルス感染症の状況により、中止するかもしれません。事前に  
ホームページでの確認をお願いします。

（浅口医師会 高山晴彦）